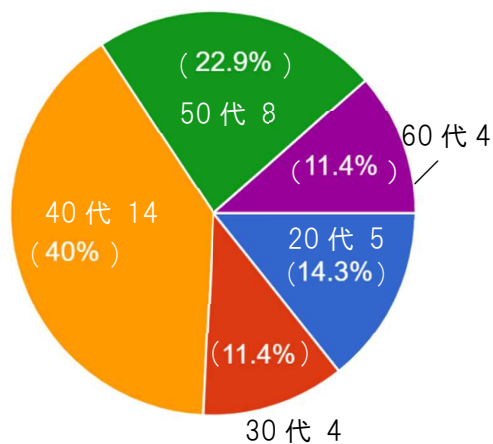


## 絆研修⑥－ 3 参加者アンケートまとめ

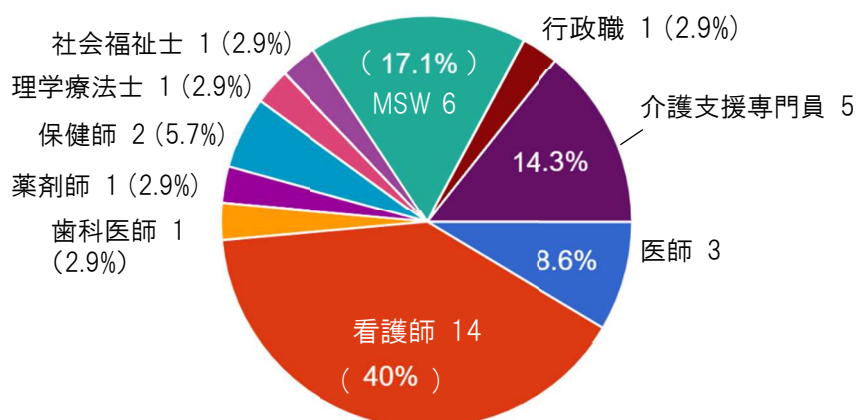
### 年代

35件の回答



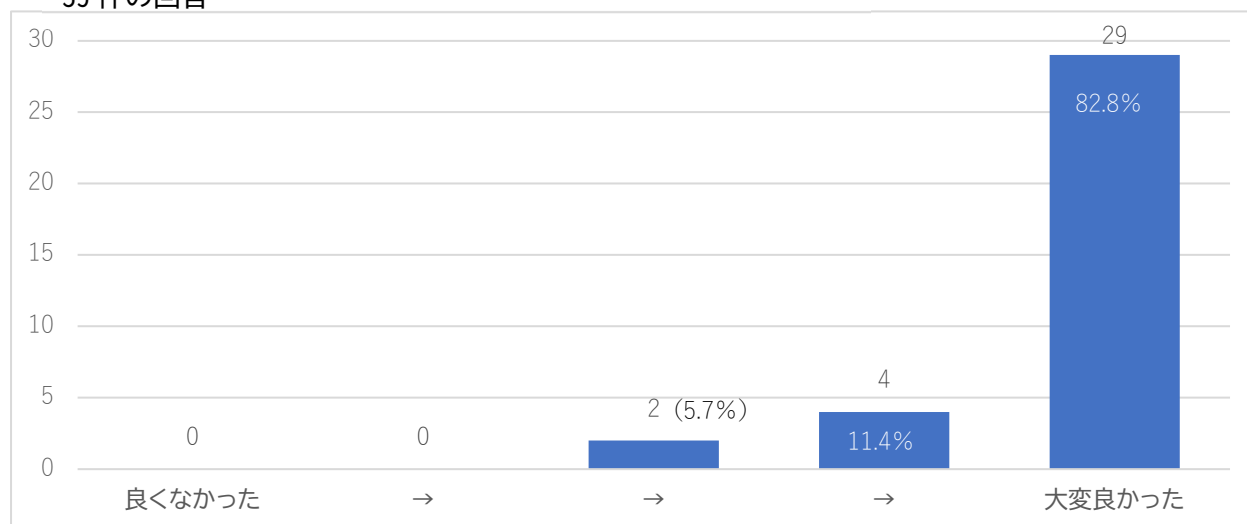
### 職種

35件の回答



### 絆研修について

35件の回答



## \*前問（研修内容）について、その理由

- ・ 回を重ねるごとに活発な意見も出て充実したグループワークができた
- ・ 色々な職種の見解が聞けて良かった。看取りについて再検討する良い機会になった。
- ・ 看取りについて詳しい話を聞けてよかった。グループワークにおいては自身が何を重視して支援を行おうと思っているのか知ることができた。
- ・ 他職種ごとでの現場の見解も聞け、今後の看護の参考になったから。
- ・ 多職種の意見・交流を行い今後の業務に生かすことができる。
- ・ 色々な意見を聞くことができたし、自分でも考える場があった。
- ・ 多職種の意見交換ができてよかった。
- ・ 様々な意見が聞け、視野が広がりました。今後の関わりに参考にしていきたいと思う。
- ・ 多職種の意見を聞くことが出来て今後の臨床の参加になった。
- ・ OPTIM パンフレットの活用や看取り、予後1週間程度以内の徴候の様子や対応が理解できた。
- ・ 他の職種の方の話を聞くことができ、情報の共有や悩みの共有ができ、連携の大切さなども改めて考えることができました。ありがとうございました。
- ・ 他職種の方の幅広い考えを聞いた。
- ・ 日頃の臨床で感じていることが、他の職種の皆様の発言を聞くことで「言語化」できました。
- ・ 広い視野の見解が聞いた。
- ・ 看取りに対する多職種の意見が聞いたこと、最新情報が学べたこと。
- ・ 多職種の方の意見を聞くことができた。zoomでのグループワークは不安だったが、ファシリテーターの方がうまくまとめてくださったので学びになった。
- ・ 他の専門職の経験話や意見を聞くことが出来て良かったです。自分の支援の中でも活かしていけるようにしていきたいと思います。
- ・ 日頃の業務と繋がる部分もありつつ、改めて色々な職種の方と意見交換ができる貴重な機会となりました。
- ・ 今後の業務に活かせると思うため。
- ・ 他職種の意見や実際の対応の仕方など具体的に話し合うことができて、とても勉強になりました。
- ・ 様々な方の率直な意見が聞かれてよかった。
- ・ 多職種の方のそれぞれの役割も勉強になり、今後の退院支援に活かせる良い学びになったと思います。ありがとうございました。
- ・ 自分の家族や現場で日常的に発生している事例だったから。改めて多職種の専門的知識やそれぞれの立場からの患者さん・家族を全人的に捉えて介入する必要があると感じた。

- ・介護食も延命治療...食事介助を受けないと経口摂取できない...それも延命治療ではないのか...そうかもしれないと、また考える視点に気が付きました。
- ・自分の職種以外の視点で新たな意見を知ることができた。また、多職種間で大切にしていることの基本は同じであると感じた。
- ・様々な職種の方が参加されている中で、在宅療養における多職種の役割や連携について学びることができました。終末期の支援を学ぶとともに、それぞれの現場の声も聴くことができ有意義な研修となりました。
- ・終末期の患者さんのケアについて、他職種の意見も行くことが出来、じっくり考える機会となった。
- ・他職種の視点で様々な意見を聞くことが出来た。
- ・グループワークが盛り上がりいろんな意見が出た。
- ・お疲れ様です！
- ・それぞれの立場での意見や経験を聞かせてもらえて、自分の考えを深めることができました。
- ・違った価値観の話を知ったことで新しい学びがあった。
- ・回を重ねる毎にスタッフの皆さんの進捗が良くなってきているように感じます。  
多職種の方の考えを知ることができた。最期を迎えるときのアセスメントや状況を理解することができた。

#### \*今回の研修に参加しての気づき

- ・色々な職種や立場の方の意見が聴けて参考になるので、多職種研修は今後も必要だと思う。
- ・グループワークにおいては自身が何を重視して支援を行おうと思っているのか知ることができた。
- ・特にありません
- ・いろんな人が支えていることを改めて実感しました
- ・医療者としての考え方を押し付けるのではなく、あくまでも患者・家族の意向を大切にします。
- ・医療者の視点から家族の視点へと視野を広げることができたと感じる。
- ・苦痛の緩和、延命治療のとらえ方に色々な選択、方法があること。
- ・介護者への説明などケアも重要
- ・在宅での看取りに際して主治医意見書がどのように運用されているのか、その重要性に改めて気づいた。
- ・嚥下食は延命か？を考える視点
- ・在宅見取りの考え方の多様性

- ・看護師以外の方の意見を聞くことが特にコロナ禍になってから少なくなったので、違う視点での意見が参考になった。
- ・ご家族が後悔しないためにどのように接していくべきなのかを考える機会となった。
- ・病院の中での関わりだと医療者側に価値観が寄りがちなところもあるが、地域の生活者として病院におられる方々の生活を支えていけたらいいなと改めて気づいた。
- ・利用者様本人、家族の最期についての意向も確認しておく必要があると感じました。
- ・職種により、視点が違うことがわかりました。他職種で連携することにより、さまざまな視点から患者様やご家族の支援を行うことの重要性に改めて気づきました。
- ・自分が抱えている悩みや迷い、本人やご家族が抱えているであろう思いなど他の方も同様の感覚を持たれていたことが知れて、安心と今後の方向性を見出すことが出来た。
- ・研修に参加して、患者・家族への支援は多職種でそれぞれの視点で思いがあり、患者・家族にとっての利益をそれぞれ寄り添って支援されているんだな、と感じました。
- ・初めに記入してしまったが、介護食と食事介助が延命治療では・・・という投げかけについて。
- ・自分の家族に当てはまっている。「毎日何もするすることができない、自分で何もできない、楽しくない」と。本人の思いと家族の本人に対する存在価値・・・。
- ・本人・家族のフォローもだが周囲のサポートしている方のケアも大切であり、全員が一つのチームとなって支えていくことが重要だと改めて感じました。すべての意向をかなえることは難しいが多職種間でいろんなサポートの意見があり手厚さを感じたとともに、本人・家族の意向をくみ取る難しさも感じました。
- ・終末期におけるケアにおいて、本人の人生を豊かにすることを考えることが必要であると改めて考えました。
- ・食事の話では、安全に食事を取ってもらうために医療者の判断で食形態の変更など当たり前のようにはしていたが、今回の研修を通して安全だけを考慮してやっていたことで患者さんの気持ちを確認できていなかったと気づいた。
- ・他職種の価値観を共有する事が支援する上で大切
- ・多職種の視点を得ることができた。
- ・参加者もスタッフ側もレベルアップしていること
- ・グループワークの人数や時間など少し余裕があつて逆によかったです。
- ・終末期の方、そのご家族様に負担にならない頻度の訪問を心掛ける必要があるな。と思いました。
- ・医療も介護も本人や家族を思って支援していることは共通。
- ・それぞれの専門性を生かした支援となるような連携が大切だと思う。

## \*今後取り組みたいこと

- ・ ACP に取り組むプロセス重視の文化を根付かせたい。
- ・ 特に思い浮かびません。
- ・ 在宅で亡くなりたと思う人家族の手助けをすること。
- ・ 患者・家族の意向を確認し寄り添った看護を提供していきたい。
- ・ 多職種連携と本人家族のサポートを充実させていきたい。
- ・ OPTIM パンフレットの活用
- ・ ほかの薬剤師にも内容を伝えたい。未参加の薬剤師に参加を促したい。
- ・ 臨死期の経過をよく観察していくこと。
- ・ 地域との連携、ACP の考えの普及（まずは院内）
- ・ 在宅療養での見取りの選択の有用性の周知
- ・ 急性期病院として地域包括ケアシステムの中でどのような役割を発揮していくのか、自分でできることを考えていきたい。
- ・ ご家族が後悔しないための支援をやっていきたいと思います。
- ・ 看取りの不安を抱えるご家族への声かけや見守りをさらに意識できればと思います。
- ・ 利用者様の今後について考える機会を設けていくこと。
- ・ 他職種連携については今後も引き続き取り組んでいきたいと思います。
- ・ OPTIM パンフレットを利用してみたい。
- ・ 現在は、入院中の患者様への退院支援を行っていますが、研修で学んだことを生かした退院支援に取り組んでいきたいと思います。
- ・ スタッフは退院支援時にどうしても看護、リハビリ担当者からの視点に偏って考えてしまうため、多職種がそれぞれどのような視点で退院支援をしているのか、視点の幅を広げて考えるように指導したい。(内服の調整、必要な介護支援は何かなど)  
代替栄養の選択についての家族の代理意思決定支援での活用。
- ・ 医療での視点で見ていることが多かったので、多職種の意見を伺い、より本人らしく過ごせるよう介護の視点でのケアを意識して取り入れたいと感じました。
- ・ 本日の学びを介護支援専門員としての業務に活かしていきたいと思います。
- ・ 早い段階から患者・家族の意向を確認し、意向にそえるようスタッフや他職種と連携する。
- ・ 他職種との連携を深めていきたい。
- ・ 更なる学びに参加してみたいです。
- ・ 別の機会でも研修参加で他職種の意見などを聞いてみたい。
- ・ 参加者により分かりやすくグループワークでの意見の取りまとめれるように配慮
- ・ 各職種の役割や考えを尊重する関係づくり、多職種を含めた会議や情報共有の方法を考えたい。最期を迎える時の本人や家族を支える支援について学びを深めたい。

### \*研修全体をとおしての感想

- ・ありがとうございました。
- ・次回の研修も参加したい。
- ・事務局の方達お疲れさまでした。
- ・初めての参加でしたがゆったりとした感じがとてもよかったです
- ・普段聞けない多職種のことを聞く機会が持てよかったです
- ・参加してよかったと思います。
- ・スムーズな進行でした。
- ・学んだことを現場で役に立てたいです。
- ・3→1→2と引き続き参加していきたい。
- ・様々な意見はあるが、医療職として情報提供はしても、個人の価値観を押し付けないこと。話し合うプロセスが大切なことを学んだ。
- ・スムーズなWEB研修ありがとうございました。
- ・コロナ禍でも、このような学びの方法があるということを他スタッフにも伝えていきたい。
- ・参加させていただきありがとうございました。
- ・参加して良かったと思える充実した研修でした。ありがとうございました。
- ・zoomという形で主催していただいたスタッフの方ありがとうございました。
- ・利用者様の身体機能や状態悪化が進むにつれて、医療と介護の連携がより必要になることを感じました。利用者様が本人、家族を含めよりよい選択ができるよう提案していきたいです。
- ・初めての参加でしたが、短時間に講義やグループワークなど内容の濃い研修会で、とても学びが多かったです。ありがとうございました。
- ・グループワークという貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。
- ・答えのないことでも、多職種でのいろいろな視点での意見が聞けてとてもよかったです。3回ともリモートでの研修でしたが、とても充実した研修に参加できました。ありがとうございました。
- ・ZOOM研修でも活発な意見交換ができて、有意義でした。絆バッチ嬉しいです。
- ・オンラインのため意見の交換がいつもより少なかったが、スライドでまとめてあったので要点が分かりやすかったです。
- ・地域包括ケアにおける自身の役割を果たしていけるよう、日々の業務に取り組んでいきたいと思います。本日はありがとうございました。
- ・食べたり点滴をすることにより、より長く生きられると思っている患者・家族がいる中で、予後が短く摂取困難となった時、本当にそれが必要なのか、再度検討し、本人・家族にしっかり説明した上で苦痛の無いように変更していくことが大切であると改

めて感じたし、現場でも活かしていきたいと思う。

- ・患者の意向が最優先でそれを実現するために常に悩みながら考えることが大切
- ・お疲れ様でした。歴史を感じる会になりましたね。
- ・実体験が聞けて良かった
- ・大変ためになりました。
- ・とても良い研修でした
- ・全体をとおして時間的な余裕があった分深まったところがあり、よかったです。
- ・グループワークのお題の内容以外にも、各個人の経験や考えを発表する程度の時間の余裕がある方が、いろいろな意見を引き出せるのかなと思いました。
- ・参加するメリットとして、PT協会の地域理学療法のポイントが付くようにしてもらえたらリハ職の参加が増えるのではないかと考えています。
- ・みなさんが積極的に研修に参加されていて、予想以上に活発に意見交換ができた。
- ・講師の先生方お二人の話も集中して聞くことができた。